

鑛業ニ對スル放資

本邦鑛業ハ由來個人ノ經營ニ係ルモノ多數ヲ占ムルカ故ニ此等企業ノ放資額ハ其性質上詳知スルコト能ハスト雖モ今左ニ會社組織ニ依ル鑛業資本額ヲ掲ケ以テ本邦鑛業ニ對スル資本放下ノ一斑ヲ示サントス

先ツ明治四十年末ニ於テ現存セル鑛業會社數、資本額及拂込額ヲ見ルニ

種 別	會社數	資 本 額	拂 込 額
石炭鑛業ヲ目的トスル會社	七一	六五、一〇九、三四五 <small>円</small>	四一、四二二、八三五 <small>円</small>
石炭及金屬鑛業ヲ目的トスル會社	一二	三〇、〇四四、〇〇〇	三〇、〇一四、〇〇〇
金屬及非金屬鑛業ヲ目的トスル會社	八一	二六、二一六、二〇〇	一七、〇〇七、九五〇
石油鑛業ヲ目的トスル會社	三一	五〇、〇四二、〇〇〇	二八、三〇三、〇〇〇
計	一九五	一七一、四一一、五四五	一二六、七四七、七八五

ニシテ之ヲ細別スルトキハ左表ノ如シ

[illegible]

又四十一年中ニ於テ新設ノ登記ヲ爲シタル會社ハ

會社數

資
本
額

拂
込
額

10

六、八三三、〇〇〇

五、七八、〇〇〇 P

一五

11,010,500

二、九〇五〇〇

11

1,5110,000

三九五、〇〇〇

117

10,363,500

七、三九三、五〇〇

ニシテ之ヲ細別スレハ左表ノ如シ

[illegible]

合計	三	三八五〇〇	三	二五〇〇〇	二	一〇〇〇〇	一	一〇〇〇〇	四	九〇〇〇〇	二	一〇〇〇〇	二	二五〇〇〇	一	一	一	一	五〇〇〇〇	二七	一〇五五三〇〇
----	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	---	---	---	-------	----	---------

更に同年中ニ於ケル既設會社ノ増資額ヲ見ルニ

會社數

資
本
額

拂
込
額

五七八、三五五

三一五、八五五

11

7000

二二五〇〇

—

一六五〇〇〇

六五〇〇〇

十

7

二、九二八、三五五

二、一七八、三五五

ナルヲ以テ即チ四十一年中新ニ放下シタル資本總額ハ千三百二十九萬千八百五十五圓拂込額九百五十七萬千八百五十五圓ナリ而シテ之ヲ鑛種別ニ示セハ左ノ如シ

新設會社ノ資本額及
既設會社ノ増資額

同上拂込額

七、四、一、二、五、五¹¹

六、〇二三、八五五

金屬及非金屬鑛業ヲ目的トスル會社	二、七二〇、五〇〇	一、五〇三、〇〇〇
石油鑛業ヲ目的トスル會社	三、一七〇、〇〇〇	二、〇四五、〇〇〇
計	一三、二九一、八五五	九、五七一、八五五

然レトモ既設會社ニシテ同年中解散セルモノ

種 別	會社數	資 本 額	拂 込 額
石炭鑛業ヲ目的トスル會社	五	一、四二四、〇〇〇	五八七、五九〇
金屬及非金屬鑛業ヲ目的トスル會社	五	三四九、七五〇	三二二、二五〇
石油鑛業ヲ目的トスル會社	七	七、一二〇、〇〇〇	六、〇二九、〇〇〇
計	一七	八、八九三、七五〇	六、九二八、八四〇

アルヲ以テ此等ヲ控除スルトキハ結局四十一年年末ニ於テ現存セル鑛業會社數、其資本額及拂込額ハ

種 別	會社數	資 本 額	拂 込 額
石炭鑛業ヲ目的トスル會社	七六	七一、〇九六、七〇〇	四六、八五九、一〇〇
石炭及金屬鑛業ヲ目的トスル會社	一二	三〇、〇四四、〇〇〇	三〇、〇一四、〇〇〇
金屬及非金屬鑛業ヲ目的トスル會社	九一	二八、五七六、九五〇	一八、一九八、七〇〇
石油鑛業ヲ目的トスル會社	二六	四六、〇九二、〇〇〇	二四、三一九、〇〇〇
計	二〇五	一七五、八〇九、六五〇	一一九、三九〇、八〇〇

ニシテ即チ總資本額一億七千五百八十萬九千六百五十圓(拂込額一億一千九百三十九萬八百圓)ニ達

シ之ヲ前年ニ比スレハ會社數ニ於テ十、資本額ニ於テ四百三十九萬八千五百五圓(二分六厘)ヲ増加セリ
今四十一年中ニ於テ新ニ放下シタル資本ヲ鑛種別ニ依リテ觀察スルトキハ其總額千三百二十九萬
千八百五十五圓ノ内石炭鑛業ハ五割六分、金屬及非金屬鑛業ハ二割又石油鑛業ハ二割四分ヲ占メ更
ニ之ヲ前年ニ於ケル放資額ト對比スルトキハ

種 別	四十一年中新設會社ノ資本額及既設會社ノ増資額	四十一年中新設會社ノ資本額及既設會社ノ増資額	四十一年ニ比シ減	同上割合
石炭鑛業ヲ目的トスル會社	一九、九五七、〇〇〇	七、四一一、三五五	一一、五四五、六四五	六・二九
石炭及金屬鑛業ヲ目的トスル會社	一一、四〇〇、〇〇〇	—	一一、四〇〇、〇〇〇	一〇〇〇
金屬及非金屬鑛業ヲ目的トスル會社	一四、九二四、六五〇	二七、一〇、五〇〇	一二、二二四、一五〇	八・一八
石油鑛業ヲ目的トスル會社	二一、四四六、〇〇〇	三、一七〇、〇〇〇	一八、二七六、〇〇〇	八・五二
計	六七、七二七、六五〇	一三、二九一、八五五	五四、四三五、七九五	八〇四

ニシテ即チ石炭及金屬鑛業ニ付テハ會社ノ新設並ニ既設會社ノ増資ヲ爲シタルモノナク又其他ノ
鑛業ニ付テモ六割乃至八割ノ減少アリタルカ爲メ結局總放下資本ニ於テ八割強ノ減少ヲ來セリ蓋
四十一一年ニ於テハ新設會社ノ數二十七ニシテ前年ノ四十四ニ對シ十七ヲ減シ殊ニ前年ニ於テハ各
種ノ鑛業ヲ通シテ巨額ノ資本金ヲ有スル會社ノ多數新設セラレタルト石油鑛業會社ニ於テ巨額ノ
増資ヲ爲シタルモノアルニ反シ四十一年ニ於テハ僅ニ石炭鑛業ニ付キ城戸炭礦株式會社資本金百
萬圓及明治鑛業株式會社(資本金五百萬圓)ノ二會社ト石油鑛業ニ付豐礦石油株式會社(百五十萬
圓)ノ新設アリタルノミナラス既設會社ノ増資額ニ至ツテモ亦寶田石油株式會社ニ於テ富士石油株

式會社及新南北石油株式會社ヲ合併シタル爲メ百六十五萬圓ノ増資アリタル外特記スヘキモノナ
キニ由レリ尙ホ前年ニ於テハ既設會社ニシテ減資ヲ爲シタルモノ尠カラザリシカ四十一年ニ於テ
ハ一トシテ減資ノ行ハレタルモノヲ見サリキ
右ノ外石油續業ニ付テハ從來一種ノ株式組織ニ成レル組合アリテ事業ヲ經營セリ之レ他ノ續業ニ
對スル放資ノ情況ト其趣ヲ異ニスル所ナリトス然レトモ其多クハ極メテ小規模ノ組織ニ成レルモ
ノニシテ時々買収又ハ併合行ル、モ四十一年十二月現在ノ組合數ハ八十一ニシテ其資本額五百九
十四萬八千二百五十圓(拂込額三百十六萬七千圓)ニ達セリ
之ヲ要スルニ本邦續業ノ發達ハ一部放資ノ狀態ニ照シ見ルモ戰後著シキ進步ヲ來シ之カ經營ニ當
レル會社數及其資本額ニ至ツテモ亦各種ノ續業ヲ通シテ逐年増加ノ好況ヲ示セリ獨リ石油續業ニ
於テ會社數ノ減少ヲ見ルノ事實ハ他續業ト大ニ趣ヲ異ニスル所ナリト雖モ其資本額ニ於テ著ルシ
キ減少ヲ見サルノ一事ハ蓋シ該續業ノ經營力漸次大規模ノ組織ニ推移シツ、アル傾向ノ一端ヲ說
明スルモノナリ

試ニ最近數年末ニ於ケル會社數及資本額ニ付キ其消長ヲ比較對照セハ左ノ如シ

種 別	年 次	會社數	資 本 額	前年ニ對スル増減割合(△印ハ減)	拂 込 額	前年ニ對スル増減割合(△印ハ減)
石炭續業ヲ目的トスル會社	三八	四一	二八、〇三〇、六〇〇 円	割	二六、一八八、九三七 円	割
	三九	五六	四〇、七二〇、六〇〇	四・五三	三〇、〇六六、四三七	一・四九
	四〇	七二	六五、一〇九、三四五	五・九九	四一、四二二、八三五	三・八〇

種 別	年 次	會社數	資 本 額	前年ニ對スル増減割合(△印ハ減)	拂 込 額	前年ニ對スル増減割合(△印ハ減)
石炭及金屬續業ヲ目的トスル會社	三八	四一	七、二〇二、五五〇	割	四六、八五九、一〇〇	一・三二
	三九	一〇	一一、五〇八、〇〇〇	〇・三四	一二、五〇八、〇〇〇	〇・三四
	四〇	一一	三〇、〇四四、〇〇〇	一四・〇二	三〇、〇一四、〇〇〇	一四・〇〇
金屬及非金屬續業ヲ目的トスル會社	三八	四一	二八、五七六、九五〇	〇・九〇	一八、一九八、七〇〇	〇・七〇
	三九	六二	一〇、三四四、五五〇	四・三六	八、五六二、八〇〇	四・六七
	四〇	八一	二六、二二六、二〇〇	一五・三四	一七、〇〇七、九五〇	九・八六
石油續業ヲ目的トスル會社	三八	四七	三三、九〇一、九六〇	割	一一、二九〇、九七九	割
	三九	三七	三三、〇五一、九六〇	〇・五六	一一、三三〇、三三三	〇・五六
	四〇	三一	五〇、〇四二、〇〇〇	六・二二	二八、三〇三、〇〇〇	一・三六
合 計	三八	一三三	八〇、三三五、一一〇	割	五六、三三八、一九六	割
	三九	一六五	九四、六二五、一一〇	一・七七	六三、二九七、五六九	一・三三
	四〇	一九五	一七二、四一、五四五	八・二一	一一六、七四七、七八五	八・四四
合 計	三八	二〇五	一七五、八〇九、六五〇	〇・二六	一一九、三九〇、八〇〇	〇・二二
	三九	二二六	四六、〇九二、〇〇〇	〇・七九	二四、三一九、〇〇〇	一・四一
	四〇	二六	五〇、〇四二、〇〇〇	六・二二	二八、三〇三、〇〇〇	一・三六